

質問に対する回答

長野麻子様への質問

Q：議員立法で木材利用の法整備が進むとの話がありました。2050年のカーボンニュートラル実現の観点から、また地方創生に資するものであり進めていただきたいと思います。質問ですが、自治体単位での施策に反映できるよう、現在の自治体単位での炭素吸収と排出量の見える化や、木材利用にいたるエネルギー効率の指標など、試算できる数値を公表していただきたいと思います。まずは、地元大野市でのカーボンニュートラル実現に向けた取り組みのきっかけとしたいと思います。よろしくお願いします。

A：議員立法は次期通常国会提出を目指して議論が継続中ですが、カーボンニュートラルや地方創生に資するよう、検討がされているところです。

木材利用による炭素吸収量の試算については、以下のページから簡単な試算シートの入手が可能ですので、ご活用ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/sanson/kigyuu/mieruka/190520.html>

自治体ごとの排出削減については、地球温暖化推進法に基づき、各自治体の実行計画を策定して取り組むことが規定されていますが、大野市役所地球温暖化対策計画が策定されているようです。

https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/sakutei/20.html

また、環境省のサイトで自治体別のカルテも見られるようですので、活用ください。

https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/tools/karte.html

坪井康武様への質問

Q：石川、京都など現在県外で（B材原木を）受け入れている企業はどこなのか。

A：主な供給先は林ベニヤ産業株式会社（石川県七尾工場、京都府舞鶴工場）です。

Q：全国にどの程度の企業（工場数）があるのか。

A：全国の合板、集成材、CLTの工場数は次のとおりです。

合板工場数：180 工場， 集成材工場：165 工場， CLT 工場：9 工場

（注）工場数は平成30年12月31日現在の工場数 出典：農林水産省「木材需給報告書」

Q：誘致に向けた福井県の支援策があれば教えてください。

A：土地の取得・造成経費に対する補助や税制の優遇措置などがございます。

詳細は、福井県ホームページの「福井県企業立地ガイド」をご覧ください。

シンポジウム全体の感想

- ・ ヨーロッパの建築資材の利用方法の他、基礎材、燃料、木育など様々な木材活用の可能性がわかり大変有意義であった。
- ・ 大変有意義な内容でした。特に、何を目的に木材利用を進めるか、明確な方向性を定めていかなければならないと感じました。
- ・ 大野市は県内最大の面積を有し、その 87%が森林です。高齢化で山林所有者の弱体化が進んでおり危機感を持っています。少しでも木材利用が、山に興味を持ってもらうきっかけとなり、さらに林業活性化・産業化につながるよう取り組んでいきたいと思えます。引き続き、ご指導よろしくお願ひします。
- ・ 特別講演 3 のヨーロッパの木材活用講演は、従来の視点を変えることのできる示唆を得ることのできた、とても良い内容であった。
- ・ 特別講演が特にすばらしかったです。また、木材利用の大切さを実感しました。
- ・ 無事開催できてよかったですと思ひます。